

障がい者支援施設に対する製品や役務の発注の想定事例

1. 菓子類…ゲーム賞品 ～賞品として利用～

A会社では、忘年会にビンゴゲームをやる予定である。この景品（参加賞）に近頃、美味しいと評判のC障がい者支援施設が作る、クッキーを用意することにした。
2. 花苗…花壇の花苗 ～量販店よりは地元の福祉施設へ～

A自治会の老人クラブでは、道路愛護活動の一環として、県道にある花壇に花を植えている。これまで花苗は、B量販店で購入していた。それほど遠くないC障がい者支援施設では、希望している種類の花苗を育てているので、購入することにした。
3. 弁当配達…親睦会による利用 ～親睦会行事で弁当の利用を～

A会社親睦会では例年、仕事納めの日に年越しそばを注文している。職員の中には、そばでは物足りない人、そばが好きではない人がいるため、B障がい者支援施設の弁当に切り替えることにした。

また、4月に開催している親睦会総会の弁当も、配達可能なB障がい者支援施設に注文することにした。
4. イベント等記念品…供用開始の記念品 ～余裕を持った依頼～

A会社宇都宮支店は、4月にオープンする。オープニングセレモニーには、来場者に先着200名、記念品を配布することになっていた。この記念品として、B障がい者支援施設が製作しているキーホルダーを注文した。
5. 野菜…給食の材料 ～地産地消の取組み～

A会社の社員食堂では、社員に食事を提供している。食堂業務は、B業者に委託している。B業者は、原材料をC協同組合から購入している。

地元にあるD障がい者支援施設では、野菜と果物を栽培している。A会社では、B業者と調整し、来週のカレーとなる日の原材料（人参20本、ジャガイモ50個、タマネギ50個）を、D障がい者支援施設から直接購入し、原材料として提供することにした。

6. 弁当配達…会議の弁当 ～融通を利かせてもらいたい注文～

A会社では、取引先との会議を行う予定。7月に開催される第1回目の会議において、出席者に昼食を出すことになっていた。

この昼食のお弁当とお茶を、C障がい者支援施設に注文した。C障がい者支援施設では、あらかじめ担当者に聞いていた出席者の好みに合った弁当を提供した。出席者からは、嫌いな物が入っていなかった、と好評であった。

7. 袋詰め・シール貼り…アンケートの発送等 ～できる施設に分割して発注～

A会社では、B計画を策定するに際し、モニター500人にアンケート調査を行うことになっていた。このアンケート用紙の袋詰め、宛名のシール貼りをC障がい者支援施設に、発送業務をD障がい者支援施設に依頼することにした。

8. 除草業務（その1）…敷地内の草刈り ～部分的に依頼～

A会社では、敷地内の草刈りを年5回、業者に委託している。近くには、草刈りが行えるB障がい者支援施設がある。年5回の草刈りの内2回を、B障がい者支援施設に依頼することにした。

9. 除草業務（その2）…芝生の除草 ～手作業は得意～

Aショッピングセンターには、手入れの行き届いた芝生がある。幼児が入って遊ぶことが多く、お客もいるため、除草剤は使用できない。このため、業者に年3回、手作業で雑草を抜くことを依頼していた。

Aショッピングセンターでは、この内2回をB障がい者支援施設に依頼することにした。

<お問い合わせ先>

社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉会連合会

〒320-0806 宇都宮市中央1-1-15 市総合福祉センター

電話：028-637-7771 FAX：028-639-0663

メール usyouren@cb.wakwak.com 担当：赤羽法夫

（委託元）

宇都宮市保健福祉部障がい福祉課自立支援グループ

電話：028-632-2229 FAX：028-636-0398

メール u1904@city.utsunomiya.tochigi.jp